

謹んで新年のお慶びを申し上げます



希望を持って

町民の皆さんと一緒に

温かいまちづくりを

日野町長 藤澤直広

新年あけましておめでとうございます。綿向山が澄みきった初春の光のなかで凜として輝いています。それぞれの家庭で心新たに新しい年を迎えられたことと存じます。

「景気はイザナギ景気を超えた」と言われますが、大企業を中心としたもので、一般住民や中小業者にとっては苦しく、格差が拡大していると言われています。今年こそ、暮らしや営業の改善が実感できる年としたいものです。希望を持って温かいまちづくりを進めていきたいと思います。

年末、清水寺の管主が書かれた昨年を代表する漢字は「命」でした。イジメを原因とした子どもたちの自殺が相次いでいるだけに、「命」が大切にされる社会をつくっていかねばならないと思います。「勝ち組」や「負け組」など、「効率」や「競争」ばかりが社会の尺度ではないはずです。元来、人は集団で支えあって生きていくもの。家庭で、学校で、職場で、地域社会で、どこでもみんなの中

で居場所があって出番があることが大事ではないでしょうか。共に生きる人々の間で格差が広がるのではなく、一人ひとりが大切にされる温かい社会が求められていると思います。

全国町村会でも、「人が人を支える地域コミュニティの重要性が強調されています。町村には、人と人が支え合ってきた歴史や文化が今もしっかりと息づいています。誇りと愛着が持てる活力と個性あふれる町村を実現しよう」と呼びかけています。

今年、念願の日野中学校建設に着手したいと考えています。国の事業採択や財源の確保に一層の努力をしてみたいです。引き続き、町民の皆さんと一緒に町の特性を活かし、役場も住民の皆さんもお互いに顔が見える関係を大切に自律のまちづくりを進めたいと思います。ご支援とご協力をお願いするとともに、日野町の発展と町民の皆さんの幸せを願って新年のご挨拶とさせていただきます。